

館報

おみ

3月号
No.684

2024.3.25 (令和6年) 編集と発行 / 長野県東筑摩郡麻績村公民館
TEL 0263-67-2240



▲保育園最後のありがとう ～麻績保育園卒園式～ (3月22日撮影) 関連記事は3面

地域交流センターで
企画展示開催

三月二十三日から四月十四日にかけて、地域交流センターにおいて、「猟友会の一日に密着！〜猟師の世界を〜」と題して企画展示を実施しています。

季刊誌「狩猟生活」（山と溪谷社刊）に猟友会日向支部の狩猟方法について大きく取り上げられたことから、普段知ることの少ない



猟友会の活動にスポットをあてた企画としました。

鳥獣保護管理員の新海秀幸さん（聖）の発案のもと、猟友会日向・麻績支部の皆さんにご協力いただき、事前に何度も展示方法について議論を交わし、今回の企画展示が実現しました。

猟友会は狩猟だけでなく、年間を通して有害鳥獣の駆除にも尽力しており、農業に携わる皆さんにとってもなくてはならない存在。どのような活動をしているか知ってもらう機会としたいため、様々な展示品を揃えて少しでも多くの皆さんに



▲展示内容について議論を交わす



▲猟友会の皆さんも応援に

見ていただきたく、地域交流センター一階ロビーを会場として開催しました。

巻き狩りという狩りの手法や、模擬銃・剥製やジビエ関連の展示等盛りだくさんで、期間中の土日には猟友会員の皆さんによる説明等ご協力をいただきました。会員のなり手不足や、高齢化など猟友会の中でも様々な問題があるそうです。今回の展示が多くの皆さんの目にとまり、特に若い方々の猟友会に対する興味のきっかけになればと思います。

公民館古典講座開催

三月二日、地域交流センターにおいておみ図書館との共催事業である公民館古典講座「源氏物語の時代を生きる〜紫式部と藤原道長〜」と題して、講座を開催しました。

信州大学出前講座を活用し、教育学部教授の西一夫先生をお招きし、NHK大河ドラマで放映中の紫式部と藤原道長についてのお話を伺いました。

当日は、五十人を超える参加者があり、西先生から時代背景、人物の相関図等様々な角度から楽しいお話をいただきました。

（詳細は七面に記載）



▲古典は実は楽しいんです



春は別れと出会いの季節。終わりと始まりが交わる瞬間は、人生の不思議な美しさを感じさせる。

過去と未来が重なり合い、新たな可能性が生まれる。終わりは新しい始まりを意味し、始まりは過去を包み込む。人はその瞬間に自らの成長と変化を見つめ直し、新たな一歩を踏み出す勇気を持つ。終わりと始まりが交わる瞬間こそ、人生の転機であり、未来への希望が宿る。そのきらめきを感じながら、新たな旅路へと進んでいこう。

●新しい門出をする者には新しい道が開ける
（相田みつを）

●一つのドアが閉まれば、もう一つのドアが必ず開きます。それはバランスをとるための自然の法則なのです。

（ブライアン・アダムス）

未来への希望をもって新たな道へ挑みたいものだ。



▲大きいカメに興味津々

ひまわり組の皆さん 卒園おめでとう

なかよし遠足に
いきました

卒園前にみんなで思い出を作るため、年長児だけでなく、なかよし遠足に行きました。場所はみんなで話し合って決めた「茶臼山動物園」。

グループに分かれ、地図を片手にスタンプラリーをして園内を回りました。

この日を心待ちにしていたひまわり組の子ども達は、終始笑顔で時間いっぱい動

物園を満喫していました。

お弁当を食べた後は、モノレールに乗って移動。茶臼山中央駅に展示してある鉄道のジオラマや蝶や虫の標本を身を乗り出すようにして熱心に眺めるようすが印象的でした。

良い天気にも恵まれて、保育園最後の楽しい思い出作りができました。

三月二十二日には、麻績保育園で卒園式が行われ、子どもたちが元気に巣立っていきま

担任の先生より

入園してから三年、長い子で六年間を保育園で過ごし、心も体も大きく成長した十三名のひまわり組さん。卒園おめでとうございます。入園当初、お家の方と離れ

る寂しさから一日中思い出しては泣き、お迎えが来るのを部屋の窓からじーと見ていた時の姿が走馬灯のように思い出されます。

あれから三年、集団生活

でのルールを守る大切さ、分かれ、日々の遊びや生活の中で友達と想いを伝え合いつながり共通の目的に向かっ

ね。それらを通して色々な葛藤や失敗、成功体験を繰り返しながら



成功体験を繰り返しながら、日々の遊びや生活の中で友達と想いを伝え合いつながり共通の目的に向かっ

ね。それらを通して色々な葛藤や失敗、成功体験を繰り返しながら

卒園によせて

麻績村中央公民館
館長 内山 修治



麻績保育園を卒園される皆さん、卒園おめでとうございます。たくさんの思い出と成長を胸に新しい旅立ちを迎えますね。これまでの学びや経験は皆さんの将来に大きな力となることでしょう。自信を持って進んでください。どんな時も自分自身を信じて夢に向かって努力し続けてください。これからの新たな一歩も皆さんの輝かしい未来へのスタートです。心から応援しています。

ご家族の皆様、お子様のご卒園本当におめでとうございます。これからも共に歩んできた日々を大切にしながら、新たな一歩を踏み出していくお子様を見守っていただければ幸いです。

人権コラム「戦争と人権」

採択から七十五年

「世界人権宣言」の

意義を改めて考える

世界人権宣言制定（一九四八年）から七十五年を迎えた二〇二三年、二〇二四年になった今でも戦争や紛争が多発し未だ不安定な世界情勢に直面しています。

戦争のない世界は多くの人々の願いです。人権を尊重し、平和を築くために私たちができることについて考えましょう。

世界人権宣言が
制定された背景

第二次世界大戦では世界各地で広範な破壊と多くの人命が奪われると共に、捕虜や非戦闘員などに対する人権侵害が起りました。また戦争中、多くの人々が強制労働に従事させられ、人権が軽視されました。

そのような背景の中で一九四五年十月に設立した国際連合は、国際平和と安全の維持、また権利と自由の尊重を促進するために協力



▲国際連合旗

※図柄は、北極を中心として描かれた世界地図を平和の象徴・オリーブの葉で囲んだデザインです。

することを目的としました。戦争を経験した世界各国の人々の間でも人権意識が高まり、将来の戦争を避けるために人権を守る必要性を広く共有していきました。

世界人権宣言の
理念と歴史的な意義

世界人権宣言は、初めて人権保障の目標や基準を国際的に定めたものです。

第一条で「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ尊厳と権利とについて平等である」と

あります。さらに、人々は差別や拷問から自由であり、平等な機会と公正な審判を受ける権利を持つことが明記され、すべての国が達成すべき基準として交付されました。

世界人権宣言は今でも人権に関する国際法の基盤として、世界の平和と安全を守るための重要な指針となっています。

世界人権宣言に
由来する記念日

国際連合は一九四八年十二月十日に世界人権宣言が採択されたのを記念し、この日を「人権デー（Human Rights Day）」としました。

日本では、一九四九年から毎年十二月十日を最終日とする一週間（十二月四日～十日）を「人権週間」と定め、全国的に啓発活動を展開しています。

長野県でも「長野県人権フェスティバル」などの取組が行われています。

「寄稿」中信教育事務所
生涯学習課 指導主事

佐々木洋一氏

麻績かるたより

「麻績村トリビア」

② 驛前は

人影まばら

時流れ



▲現在の聖高原駅前通り

自家用車の普及や大型店の郊外進出などで駅利用が減っているのは全国的な傾向です。赤字路線廃止などという話を聞くと民営化は正しかったのか？と思ってしまう。県の二大都市を結ぶ篠ノ井線は廃止にはならないでしょうが、車両や本数が減らされたら不便ですね。特に高校生にとっては唯一の通学手段です。「支える」なんてたいそうなことではできませんが、利用する時は往復切符を心がけています。

③ 麻績社

村のはじまる
要なり

▲麻績神社（叶里）

叶里の麻績神社周辺には古墳群があり、古代から人の暮らしがあった場所のようです。実際に足を運んでみますと、巨大な石燈籠が明治十六年建立で寄進者は百七十名ほどとか。多くの人に信仰されてきた神社だという事が分かります。境内に入ると、大きな切り株がいくつもあります。故あって伐採せざるを得なかった御神木でしょうか。そして社殿の下にも切り株が。どんな社がここにあったのでしょうか。見上げると空が四方に広がっています。「真ん中」なんだなと感じる場所です。

麻績小学校

思い出の修学旅行

六年 小島あかり

二〇二三年一〇月二十三日

月曜日に出発しました。私は『初めて東京に行く』と、すごく楽しみでした。私達は六人なので、電車を

使いました。地下鉄を何回も乗り換えて移動しました。国会議事堂では、普通の修学旅行では入ることができない所も見ることができました。その後、浅草寺やス

元気通信!!

～今月の小・中学校～

カイツリーを見学したり、江戸切子づくり体験をしたりしました。二日目は国立科学博物館を見学し、東京ドームシテイアトラクションズで思い切り遊びました。麻績村に



▲普段は入れないところへも



▲スカイツリーの前にて

帰ってくる。「やっぱり、麻績村の空気の方がおいしい」と「麻績村の方が気持ちがいい」に、心の中で「一票」入れました。でも、初めての東京はすごく楽しかったし、東京の良い所と同時に、麻績村の良い所も学ぶことができたと思います。

中学校の修学旅行も楽しみです。

筑北中学校

「雑草」のよここ

筑北中学校校長

白井 伸明

私が小中学生だったとき、入学式や卒業式の式辞で、当時の村長であった宮下土義さんが、常に「皆さん、道の端を見なさい。草がアスファルトを突き破って出てきている」と、私たちに話してくれました。勢いのある口調に、ちょっと失礼ですが、「面白いな」と感じながら聞いていたことを思い出します。

退職間近になった今、その言葉を思い起こすと、村長さんは、私たちに「期待」や「激励」の気持ちを含めて伝えてくれたのだと思います。今でも、歩きながら、道の端を見ると、本当に力強くアスファルトを突き破っている草を見ます。そのエネルギーは無限大です。

筑北中学校を卒業する二

十四名の生徒の皆さんは、九年間の義務教育を修了し、これから、それぞれの道を歩んでいきます。皆さんが入学したときは、日常の姿に「あどけなさ」を感じていましたが、この三年間の学校生活を送るなかで、確実に成長してきたように思います。立派になりました。本当に逞しくなりました。卒業後も、一人ひとりが「自分の考えを持ち、しっかりと人生を歩んでいてくれるだろう」と期待しています。

これまででは、保護者の方々、地域の皆さん、学校の先生のサポートの中で生活し、成長してきました。今後も、周囲の方々のサポートを受けることは同様ですが、少しずつ自立し、一人で物事を決めて進む時が多くなると思います。

自分の無限大の可能性を信じ、色々な場面で、考え、悩み、決断し、自己の責任で歩んでいってほしいと思います。「雑草」のように、アスファルトを突き破るくらいエネルギーを持ち、

逞しく成長してほしいと思います。ご卒業おめでとうございます。皆さんの活躍を期待しています。



▲卒業式に向けて歌を練習



▲ふるさとプロジェクトまとめの様子

相撲と麻績の事跡

(その五)

天神さまの祭り
と奉納相撲について

○「天神さま」の由来について

天神さまは愛称であるが、天神宮・天満宮・天満天神宮という。上井堀横屋・山寺氏子中の天神さまには、「奉勧請天満大自在天神宮守護攸」とある。

天神は、菅原道真の神号であり、天満天神は菅原道真を祀った神社の官号で祭神は「菅原道真」である。

平安時代（八四九〜九〇三年）の貴族・右大臣で宇多天皇・醍醐天皇に仕えた。「類聚国史」「新撰万葉集」

を作った学者でもある。

左大臣藤原時平の讒言によって、太宰権師に左遷され、配所で没（九〇三年）する。その後、時平の死など怪異が続いたことから、御霊として北野天満宮（京都市）に祀られ、「学問の神」として尊崇されている。

天神さまは、各集落に祀られ、麻績村で最も多い神であると推考される。中町の天満宮には、天神さまの木造坐像神像が祀られていた。銘には、「上田之臣平野六左衛門邦慶納東都法矯幸慶作天明八（一七八八）年」とある。銘に「慶」の字が見られるので、運慶・快慶にかかわる慶派の仏師の作とも推考される。麻績村土地台帳に「天神社」の地名があり、地名図には中町北のイヅナ山の東の天神林に社があつて鎮座していたと推考されるが、現在は中町公民館に遷座し祀られている。

○「天神さま」の祭りについて

祭りはどこの集落でも、夏と冬に行われた。上井堀には、「丸山」「横屋・山寺」「半在家」にそれぞれ天神宮が祀られている。夏祭りは八月中旬に行われ、太鼓の道中と煙火で参詣し、十三日は丸山十王堂前庭で、十四日は西光寺前庭、十五日は半在家神明宮前庭で、

奉納相撲や富くじなどに興じた。

村誌によれば、奉納相撲の主催は、小学生（尋常科・高等科）で、土俵作りや景品の調達、後片付け等一切が自主的に行われた。近隣からの子ども力士や青壮年の飛び入りもあつて賑やかであった。子ども力士には、醜名（四股名）で呼び出しがあり、名前・屋号・風貌・祖父の名前等様々で、会場から笑いや盛大な拍手があつた。戦後しばらく続いた集落もあつたが、昭和三十年代には行われなくなった。

冬の天神祭りは、子どもが冬休みになった十二月二十五日（菅原道真の命日は二月二十五日、毎月二十五日は月命日にあたる。）に行われた集落が多かつた。名前の入った自書の「奉納天満天神宮」の小幟を掲げ、高学年の引率で参拝し学業の加護を祈った。その後あらかじめ準備しておいた薪山に点火し持ってきた小幟を神火に投じて再度祈りを献じた。参拝のあと、年長

の当番の家や集会所でちゃんこ鍋を模した豆腐汁を会食し、花札・トランプ・スゴロク等に興じた。この祭りは冬休み初頭の楽しみの一つであった。

前述した天神さまの祭りについては、子どもの減少や、コロナ禍で休会となつている集落が多い。また参拝者が無くなり管理がされなくなった天神宮が散見されるが後世に残したい。

「奉納角力願」について

上井堀地区に、二通の「奉納角力願」が所蔵されている。一通は明治十三（一八八〇）年九月十七日付で東筑摩郡日向村上井堀耕地信徒惣代・祠官・戸長の連名で、あて名は、東筑摩郡長稲垣重為殿である。「右ハ本月二十日右社（字細川太神宮）祭典二付前書人名之者相雇工同社境内ニ於テ角力奉納仕度奉存候」とあり、前書人には、南深志町二名、里山辺村、山本村、□の門村、神林村各一名の力士名が醜名

ではなく本名で記されている。田舎の小社の奉納相撲であつたが、地元の素人力士ではなく、専属の免許力士を雇い興行していたことは注目される書類である。

もう一通は、明治二十二（一八八九）年九月四日付で、惣代二名の連名で、麻績分署長警部補櫻井義政殿である。「右ハ本月十日日向村上井堀耕地字細川建立有之太神宮祭典当日ニ全所境内ニ於テ奉納角力致度候間此段御許可被成□度奉願言也」とある。

奉納相撲であつたが、飛び入りや土俵荒らし等の諍いがあつたと推考され、警察署への届け出義務と警備の依頼が必要であつたと考えられる。

（紙面の都合上、奉納角力願の写しについては、次月号で掲載します）

次号に続く

「寄稿」信濃史学会会員

飯森 忠幸

本の森だより

おみ図書館

公民館・おみ図書館共催
信州大学出前講座

源氏物語の時代を生きる ～紫式部と藤原道長～

信州大学の西一夫先生による二回目の古典講座が開催されました。

前回の万葉集の講座からの西先生のファンも多く、また、一月から放送のNHK大河ドラマ「光る君へ」の時代の内容が、皆さんの興味にぴったりはまったようで、当日は多くの参加がありました。

講座前半は「紫式部日記」を基に「源氏物語」の



▲資料も分かり易く聞き入りました



▲源氏物語の漫画もあります

作者が紫式部であるという根拠のお話から始まり、当時の貴族の暮らしぶりや、大河ドラマの登場人物との照らし合わせが中心のお話。後半は、大河ドラマの場面に「源氏物語」の場面と同じ構図の描写がされていて敬意が感じられると、時間が足りないくらいにたくさんのお話が聞けました。参加された方からは、「ドラマを再度見直したい」「高校時代の古典の先生が西先生だったら良かった」などの感想もあり、有意義な時間を過ごしていただけたようでした。

会場で行った出張図書館での貸し出しも多く、「源氏物語」は複数の作家が現代語訳を出しています。すべておみ図書館で所蔵してはいませんが、他館からのお取り寄せも可能です。リクエストがありましたらお気軽にお声がけください。

狩猟コーナー設置

地域交流センターで開催された「猟友会の一日に密着！～猟師の世界をご覧ください～」展と連動しておみ図書館でも、狩猟に関する本の企画コーナーを設置しました。

交流センターの展示は四月十四日で終了ですが、図書館のコーナーは四月いっぱい設置しています。猟友会の活動が紹介され



▲ご利用お待ちしております

た雑誌「狩猟生活」も貸出可能です。

私たちの生活のすぐそばにある野生動物の営みを感じ、これからの野生動物との向き合い方を考えるきっかけにも。

「狩猟生活」に登場した松本市在住の作家北尾トロさんの猟に関する楽しい著作も併せてこの機会にお楽しみください。

猟師になりたい

北尾トロ 著



信濃毎日新聞社

右も左もわからないまま走り回った「しんまい猟師」の山里奮闘記です。

蔵書点検・レイアウト変更終了

二〇二三年年度の蔵書点検が終わりました。休館のご協力ありがとうございました。

また、二月中旬からは、書架の耐震補強工事準備のためレイアウト変更も徐々に

に行っていて、急に場所が変わるなど大変ご迷惑をおかけしました。

書架耐震補強工事は、小学校夏休み中の七月下旬から八月上旬に行う予定です。

詳細日程は、村広報無線・館報・ホームページでお知らせします。



▲児童書コーナー側：向きが変わり、通路も広々



▲一般書コーナー側：新着コーナーが見やすく

みんなが 3月のおみ図書館

2月貸し出し数

貸出冊数一般	941冊
貸出冊数児童	927冊
来館者数一般	364人
来館者数児童	928人



**麻績小学校PTA
特別会計の一部を子ども
たちに託す事業について**

麻績小学校PTA施設・生活指導部会では、PTAや地域住民の皆さんにご協力いただいているアルミ缶回収で得たお金の一部を子どもたちに託す事業を三月五日に実施しました。

子どもたちにお金の使い方任せることで、主体的に考え、実行する体験の場を提供したいという願いから今回実施したものです。この日は目録を渡し、来年度の児童会で使い道を検討してからお金を渡すかたちで進めています。PTAと

しても子どもたちの出す答えより、そこにたどりつくまでの過程に注目したいと考えています。

●このお金は、PTA・地域住民が協力して集まったアルミ缶を売ること

●使道やその決め方に特に決まりはなく、いつまでに決めるか等の期限は設けないこと。

●みんなで山分けは禁止。また、困ったときは先生やその他大人に相談すること。

子どもたちにはこの三点について必ず守る約束として伝えました。



▲使道をみんなで考えよう

金融教育については、早ければ早いほど良いと言われていきます。お金を何に使うかよりもどう使うかを考えることが非常に重要だと考えます。

PTA施設・生活指導部長の岩永康秀さん(横屋)は、「日頃はPTAのアルミ缶回収にご協力いただきありがとうございます。今回私たちは回収で得たお金を有効活用する方法を考えました。そして、子どもたちにそのお金の使い方を通してみようとなりました。子どもたちがどのような使い方をするか興味のあるところですが、どう考え、どう決めていくのかを楽しみにしています。」と話してくださいました。

子どもたちの出す答えに今後注目していきます。



**大学生を対象とした
「合同企業説明会」
開催のお知らせ**

松本職業安定協会(後援ハローワーク松本)では、大学・短大・専修学校等の学生を対象とした「合同企業説明会」を次の日程で開催します。

○開催日時

令和六年五月二日(木)
午後一時三十分～午後四時まで(入退場自由)

○場所

ホテルブエナビスタ(松本市本庄一―二―一)

○参加対象者

令和七年三月に大学・短期大学・専修学校等の卒業見込者

○参加予定企業

松本・塩尻・安曇野・東筑・大北地域に就業場所を持つ企業(約七〇社参加予定)

○受付時間

午後一時から午後三時三十分

○お問い合わせ先

松本新卒応援ハローワーク(☎三三―八六〇〇)

編集後記

働き方改革関連法に基づく時間外労働の上限規制がバス運転手に導入された。バス業界は労働時間が全産業比で一割ほど長く、過労抑止を図る狙いだそうだが、運転手が現状でも足りておらず、業界では二〇二四年度の不足は二万一千人に広がると試算している。路線バスは人口減少や過疎化で厳しい経営環境であり、人材確保ができれば減便や路線廃止の拡大は避けられず、厳しい現状となっている。最近ではコロナ禍の外出自粛から国内移動が一気に活発化しており、今後運転手問題は様々な場所で顕在化してきそう。



ご冥福を祈る

小島 松代 100歳 上町
塚原 利子 95歳 野田沢
渡邊みち子 100歳 桑関